

あいサポート運動15周年を経て
～障がいを知り、共に生きる 支え愛の社会へ～



鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課

鳥取県では、誰もが、障がいや、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、ちょっとした手助けや配慮などを実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を皆さんと一緒につくっていく「あいサポート運動」を平成21年にスタートしました。今では、鳥取県だけではなく、全国の30を超える自治体が連携してこの運動に取り組んでいます。あいサポート運動を実践する「あいサポーター」は、全国に71万人以上誕生し、それぞれの地域で活躍されています。

この運動で大切なのは、様々な障がいを知ることです。まず、障がいの特性や障がいのある方のこと知り、そのうえで、日常生活で困ること、必要なサポートの方法などをしっかり理解することで、より適切なサポートを行うことができます。あいサポート運動の講師である「あいサポートメッセンジャー」による研修を実施しているほか、自己学習にも使える“ハンドブック”や“研修用動画”を県のホームページに公開するなど、それぞれに合った学習方法・教材を提供しています。

障がいがあっても、周囲の理解やちょっとした配慮があれば、障がいを乗り越えられることや活躍できることがたくさんあります。そして、「障がいがあるから」と決めつけるのではなく、温かく接しながら、それぞれの特性や能力を活かす方法を障がいのある方とない方が“一緒に”考えることが大切です。これが相互理解にもつながり、更には新たなコミュニティづくりにもつながります。

また、この運動を地域により一層根付かせるためには、若い世代への普及啓発も重要です。その一環で取り組んでいるのが、「あいサポートの心」を持って行動する子どもたち（小学生）である「あいサポートキッズ」の取組です。

小学生のころからあいサポート運動を学び、障がいを理解し、自分たちに出来ることを考えてもらうことで、この子どもたちが大人になり、地域や社会の中心になって活躍するときに、自然とあいサポートの輪が地域に広がっていくと考えています。教育委員会とも連携しながら、学校の授業等の中で障がいについて学ぶ機会を設けており、障がいのある方との交流等を通じ、子どもたちの新たな気付きにつながり、障がいへの理解が一層深まっています。

この他、教職員向けの研修、大学生向けの研修、障がいのあるなしに関わらず一緒にスポーツ等を楽しむ交流会など障がい理解や必要なサポートの実践、新たなコミュニティづくりに向けた施策に取り組んでいます。これらの取組の推進が、真の共生社会の実現につながると考えていますので、今後も引き続き様々な施策を着実に推進させていきます。あいサポートの輪を地域で広げていくため、ぜひ、皆様もあいサポート運動へのお力添えをお願いします。

あいサポート運動の
詳細はこちら ⇒

